

平成25年度ホタテガイ採苗情報（第6報）

平成25年5月30日

発行：岩手県水産技術センター
協力機関：沿海振興局水産部・水産振興センター
関係漁業協同組合



県中南部～南部で付着稚貝数が増加

< 調査結果の概要 >

- 唐丹湾の水深10m層の水温は9.3℃と平年より1℃低め。水深10～50mで8～9℃台となっています。透明度は12m（前回14m）でした。
- ラーバの出現数は、唐丹で増加傾向、唐丹を除いた県中北部以南で横這い～減少傾向です。200μm以上の大型個体の割合は5割以上となっています。
- 試験採苗器の付着稚貝数は64～2,946個/袋（前回22～640個/袋）でした。唐丹湾は前回より増加し、8割が付着直後の個体でした。
- 県中南部から県南部にかけてムラサキイガイの出現数が依然多い状況です。付着稚貝数は、釜石湾で1,076個/袋、唐丹湾で1,928個/袋、綾里で3,445個/袋、泊で245個/袋でした。また、ラーバ調査ではムラサキイガイ、キヌマトイガイとも多数確認されています。
- 県中北部から県南部にかけて採苗器の投入適期と思われます。ただし、県中南部以南ではムラサキイガイが多数付着することが予想されます。採苗器は多めに準備し複数回に分けた分散投入の実施を心がけてください。

< 宮城県の状況（5月29日発行気仙沼水試ホタテガイ採苗通報） >

- 気仙沼周辺海域で付着稚貝数が136～1,320個/袋と、付着稚貝数の増加が継続。採苗袋の投入継続を指示。

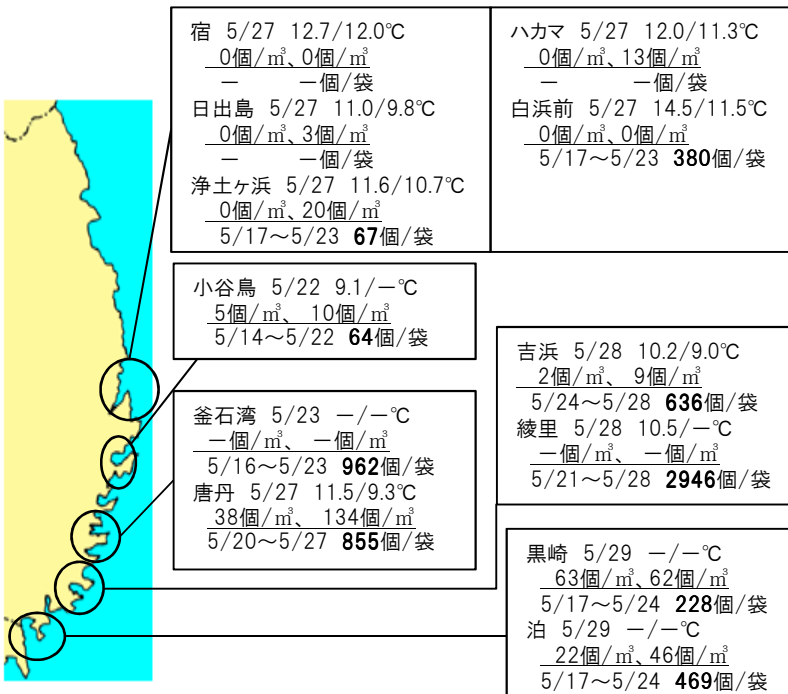


図1 各定点の調査結果

調査点 調査日 0m/10m層水温
ラーバ出現数(200μ未満、200μ以上)
試験採苗器垂下期間 付着稚貝数

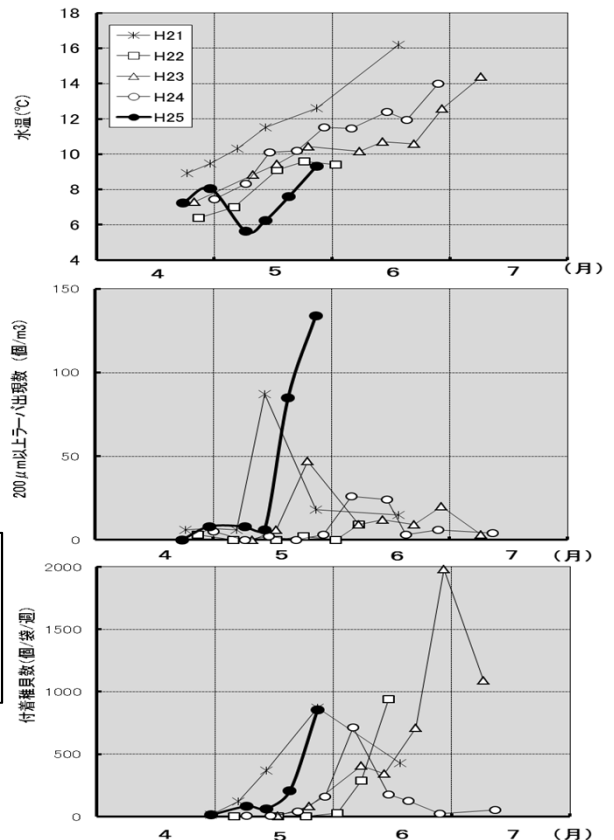


図2 唐丹湾の水深10m層水温とラーバ・付着稚貝の出現状況

次報は、6月6日に発行する予定です。